

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街』

重点課題4 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信

< 施策の基本方針 >

世界の集客交流都市さっぽろの実現を目指し、札幌の魅力である、食や自然、文化芸術などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用し、札幌独自の魅力づくりや観光資源の発掘を行うとともに、受入対応を充実するなど、観光やコンベンションの一層の振興を図ります。また、道内各市町村とも連携して道内各地の食や観光などの情報を発信する拠点機能を充実するなど、集客交流を推進します。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 459,005千円 / (計画事業費) 1,730,000千円 : 26.5%

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

【施策1】観光魅力づくりの推進

- ・雪まつりさくらんどう会場で、過去最高の入場者数を記録。
- ・ライラックまつりの期間を2日間延長し、前年比16,800人増。
- ・藻岩山の具体的な整備内容の検討札幌紹介施設の基本設計。
- ・秋祭りシンポジウム、企画書の制作。
- ・大通公園1丁目にスケートリンクを設置し、5,083人が入場。
- ・梅林のライトアップを11日間実施し、夜間に14,300人が来場。

【施策2】観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進

- ・個人客対応、来客受入、魅力づくり発信、コンベンションの各プロジェクトを実施。
- ・ROUND-TABLE、修学旅行誘致、旅行商品提案等を実施。
- ・海外プロモーション、メディア等招へい、外国語観光ガイド制作。

【施策3】道内各市町村と連携した魅力の発信

- ・札幌広域圏ドライブルートマップの作成、札幌広域圏ネット(メールマガジン)による情報共有などを行った。

20年度(予定)

【施策1】観光魅力づくりの推進

- ・雪まつり魅力アップ事業を実施。
- ・ライラック音楽祭の継続、大連市アカシアまつりとの交流。
- ・藻岩山展望台基本設計、ソフト事業の継続・充実と展開。
- ・「さっぽろオータムフェスト2008」の実施。
- ・雪まつり1丁目会場のスケートリンクのサイズや期間の検討。

【施策2】観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進

- ・個人客対応、来客受入、魅力づくり発信、コンベンションの各プロジェクトの継続。
- ・ROUND-TABLE、修学旅行誘致、旅行商品提案の継続。
- ・シンガポール他での観光プロモーション、旅行社・メディア等招へい、キーパーソン招へい、外国語観光ガイド制作の継続。

【施策3】道内各市町村と連携した魅力の発信

- ・札幌広域圏内の観光施設などを対象としたスタンプラリーを実施するなど、広域圏組合との連携を継続。

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加

- ・藻岩山魅力アップ事業：藻岩山の魅力を考える懇談会に市民が参加し、その意見を反映して藻岩山魅力アップ構想を策定した。
- ・新たな秋のイベント事業：企画立案段階から、市民や学生、観光関連団体との懇談を実施して意見聴取。

企業等との連携・協働

- ・各事業において、限られた予算の範囲内で実施するため、協賛スポンサーからの協力や、本市からの負担金などにより、資金協力を行った。

市民・企業等が参加しやすい環境づくり

- ・各事業において、広報さっぽろやホームページ等を利用して、ボランティアを募集し協力をいただいた。また、事業内容をわかりやすくPRし、多くの市民や団体が参加しやすいように工夫した。

評価(成果)と課題

【施策1】観光魅力づくりの推進

- ・「ライラックまつり」においては、大連市との交流を行った。平日の集客が課題。「藻岩山魅力アップ事業」においては、ソフト事業の展開や、懇談会実施により、観光資源としての藻岩山が市民に定着しつつある。事業実施に係る関係者との調整、リニューアル後を見据えた体制整備などが課題である。各事業に概ね共通して、限られた予算の範囲内で事業を執行するにあたり、関連業界の協賛を得る努力がさらに必要となっている。

【施策2】観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進

- ・個人客対応、来客受入、魅力づくり発信、コンベンションの各PJにおいて実績をあげ、旅行会社等との人的ネットワーク、相互協力体制を構築できた。また、札幌の認知度を向上させ、旅行商品造成につなげたことが、着実な入込み増につながった。今後も、観光関連業界との一層の連携を図るとともに、観光客の満足度アップのために連携していく必要がある。受入環境整備、規制緩和、出入国手続き体制整備などにも一層取り組む必要がある。

【施策3】道内各市町村と連携した魅力の発信

- ・「さっぽろオータムフェスト2008」について、リンケージアップフェスティバル参加市町村に対する説明を行い、理解を得た。今後も、関係市町村との連携を進める必要がある。

今後の重点取組

- 「さっぽろオータムフェスト2008」をはじめとする新たなイベントによる集客、既存のまつり等のイベントの魅力アップ、観光プロモーション、受入環境整備などにさらに力を入れて、集客交流都市さっぽろの実現に向けた取組を継続的に強化していく。

主な達成目標の状況

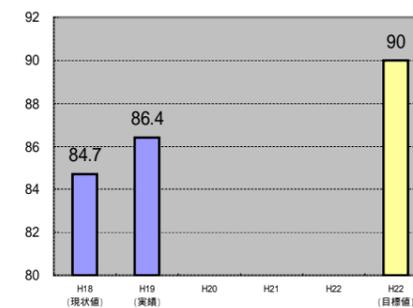
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
ライラックまつりの観客数	500,000人(H22)	346,700人	363,500人
さっぽろ雪まつり魅力アップ参加団体数	15団体(H22)	9団体	10団体
藻岩山の再整備	整備(H22)	-	-
大通公園スケATINGスクエアの利用者数	1万人(H22)	-	5,083人
平岡公園・梅林ライトアップ期間中の夜間入場者数	17,600人(H22)	-	14,300人
札幌観光の満足度(おもてなし)	75%(H22)	69.5%	78%
外国人観光客のリピーター率	30%(H22)	25.4%	28.9%
コンベンションの開催件数	1,050件(H22)	911件	952件
観光集客イベントの集客人数	7.5万人(H22)	7.1万人	7.0万人
道外観光客の来客数	6,791千人(H22)	6,398千人	6,104千人
外国人延べ宿泊者数	70万人(H22)	559,272人	752,081人
スイーツを楽しみにした観光客の増加	35%(H22)	24.2%	20.6%

主な施設・サービスの整備水準

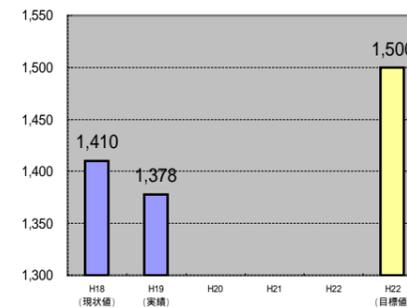
該当なし

成果指標等の動向

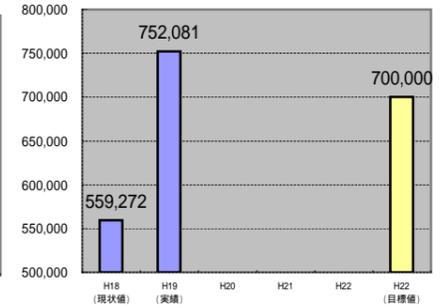
観光地としての満足度(単位:%)



年間来客者数(単位:万人)



外国人延べ宿泊者数(単位:人)



札幌市内での総観光消費額(単位:億円)

